

# 一般質問

(一般質問は4面・5面・7面にも掲載)



## 本市の外周部の生活環境を整備し 活力あるまちづくりに努めよ

創案クラブ 谷 和雄

※農業生産工程管理(GAP)の普及・拡大について

問 本市はGAP制度をどのように捉え、取り組んでいるか。

答 本市の農産物を世界にPRできるように、取得に向け準備する。

問 GAP認証取得後、更新時の費用支援などの考えはあるか。

答 国・県の支援に追加して、本市が支援する方法を検討する。

二 公共施設の利用促進について

問 表丹沢野外活動センターの風呂棟は、テント泊のキャンプ場利用者でも利用可能か。

答 旅館業法により、研修棟の宿泊者のみ利用可能となっている。

要望 施設の日帰り利用者にも、風呂棟を開放してほしい。

三 生活圏から見た暮らしやすいまちづくりについて

問 住民の生活行動と移動手段に着目した調査データはあるか。

答 パーソントリップ調査のデータがあり、自動車の利用が多い。特に本市外周部の道路整備が必要と思うが、市道19号線を整備する考えはどのようか。

答 地域と連携を図り、どのような整備ができるか検討していく。

問 本市外周部の学区区などで、既に形成されている集落への配慮はどのようか。

答 日常生活圏を確保し、今後も経済活動を担保していく。

要望 本市外周部の生活にも目を向け、広域行政に力を入れてほしい。



日帰り利用者にも風呂棟の開放を



## あと23年後、 人口は14万8,001人へ

一 責任ある未来について

問 ①平成52年、人口13%減、高齢化率36・7%となる状況への対応は、本市は27年2月時点で936軒が空き家の疑いがあるが、対応は、②秦野赤十字病院の分娩休止から2年3カ月、再開のめどは、八木病院の産婦人科開設、個人診療所の誘致は、③32年の「オリパラ」を契機に、秦野から次世代につながる森林づくりは、どうか。

答 ①社会保障関係費が毎年2億円から5億円増の中、選択と集中で対応。空き家の相談体制を充実

させ、活用促進に取り組む。②31年度をめぐり、最大限努力する。八木病院とは33年3月まで市有地を確保し、基本契約締結を目指す。個人診療所の誘致はしっかりと取り組む。③多くの関係者と植樹活動を推進し、世界へアピールする。

二 安全で快適なまちづくりについて

問 ①鶴巻温泉駅南口の公衆トイレやペDESTリアンデッキなどの設置、北口へのエレベーター、エスカレーターなどの設置は、②東海大駅入口交差点と、さなだ幼稚園前の交差点整備は、どうか。



## 古民家「緑水庵」の さらなる有効利用を

一 古民家を利用した地域活性化策について

問 2020東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定し、※インバウンドの期待が高まるが、本市での展望はどのように考えているのか。

答 県観光協会や独立行政法人国

際観光振興機構などで構成する「神奈川県観光魅力創造協議会」の出前セミナーを平成29年2月に蓑毛地区で実施した。セミナーでは、留学生を含む4名の外国人が大日堂の見学、宝蓮寺での座禅体験、緑水庵でのそば打ちなど、里山を感じながら地元の人と交流することができた。



## さらなる生ごみ資源化施策の展開により、 循環型社会形成の道筋を示せ

一 自民・新政 風間 正子

一 保育の充実に向けて

問 ①突発的に起こる子どもの保育所などへの送迎を支援する施策は、②保育士確保のための処遇改善は、どのようか。

答 ①ファミリー・サポート・センターで支援をしたい人と受けた人を結び付けているが、ニーズに対し支援者が不足しており、増加に努める。②平成27年度から継続年数に応じた加算があるが、上乗せ措置がされており、一人あたり平均6千円の増加が見込まれる。



市役所西庁舎前に設置された「キエー口」

本市の実情を踏まえ、研究したい。

要望 保育士の子どもを優先して入園させ、保育士の雇用につながる事例もあり検討してほしい。

二 循環型社会の実現について

問 生ごみ分別収集の終了後も事業を継続すべきと考えるがどうか。

答 平成29年度で大型生ごみ処理機のリースが終了するため、議員有志から借り受けたキエー口も参考とし、それぞれの家庭に合った手法を選択してもらい、より費用対効果の高い事業を検討する。

問 近年の事業系ごみ増加に対し、業務用生ごみ処理機の設置補助を復活させる考えはないか。

答 業務用生ごみ処理機は故障リスクや維持費が高く、生成堆肥の利用先が確保しづらい事情もあるが、研究したい。

要望 小学校などに設置した生ごみ処理機を活用した堆肥化の取り組みは子どもにとって身近な食育の教材であり広くPRしてほしい。



現在の鶴巻温泉駅北口駅前広場の様子

答 ①南口の整備完了は平成30年3月末、北口は9月を予定。②年度内整備予定。東海大近道商店街のエスカレーターも完成し、県道613号までの道路拡幅を進め、周辺の利便性の向上を図る。

要望 東海大前駅から平塚駅へのバス路線開通を。



「緑水庵」を活用しインバウンドの取り込みを

今後、外国語表記の案内看板の整備や蓑毛地区で行った「おもてなし」の受入体制の強化、また、近隣市との広域観光周遊ルートの策定などを進めていきたい。

問 「緑水庵」を今以上に有効活用する考えはあるのか。

答 地元自治会を中心に、地域観光と活性化の拠点として活用することが、「緑水庵」を最も有効に利用できるものと考えており、そのための仕組みづくりを検討していきたい。

要望 市内には「緑水庵」を有料で借りて、有効活用したいという人もいる。それほど「緑水庵」は魅力ある建物である。

市として、どうしたら最少の投資で最大の効果を生むかを早期に検討してほしい。



## 全ての人が安心して使いやすい 福祉的避難場所の整備を

公明党 横山 むらさき

一 福祉的避難場所等について

問 大規模地震が想定される中、避難行動要支援者だけでなく、多くの被災者が災害弱者といわれる要配慮者となる可能性があるが、広域避難所の福祉的対応、※スフィア基準をもとにした収容人数の見直しが必要ではないか。

答 要配慮者への対応は、避難所運営委員会に要配慮者支援班を配置し、各避難所に専用スペースを設けるが、先進自治体を参考に運営方法を検討したい。また、地域防災計画の見直しの際には、スフィア基準に近づくように検討する。

二 防災キャンプについて

問 情報化社会で育つ子どもたちは、野外活動の経験が少ない。不便を体験する防災キャンプの実施は可能か。

答 テント生活の体験など、野外での生活体験は重要であり、防災意識の高揚を図り生きる力を育めるような事業展開をしたい。

三 八重桜の文化継承について

問 全国に誇る千村地区の食用八重桜は、花の摘み手の高齢化で後継者不足が深刻と聞か、実態や支援はどのようか。また、オリンピック・パラリンピックに向け、農福連携で加工品を作り、世界に桜の食文化をPRしてはどうか。

答 摘み手や加工従事者も高齢化しており、実態調査などとともに技術伝承を学ぶ機会を検討していく。また、状況が整えば農福連携も検討課題の一つとなる。



八重桜摘み手の技術継承を

## 閲覧できます 政務活動費の「使い道」

市民の代表である議員の調査研究活動は欠かせないものとなっています。

政務活動費は、議員の議会活動の一助とするため、調査研究活動などに対して使用できます。

市議会では政務活動費に関する収支報告書や領収書の写しを公開しており、市議会ホームページや市役所4階閲覧コーナーで誰でも気軽に閲覧することができます。



領収書の写しなどが閲覧できます

## 会議録の検索・閲覧

市議会のホームページから本会議での一般質問、議案審議をはじめ、常任委員会や特別委員会の会議録を検索・閲覧することができます。議会だよりでは、紙面の都合上、一般質問や議案審議などの要旨しか掲載できませんが、会議録検索システムでは、発言の全てを検索・閲覧することができますので、ぜひご利用ください。

(6月定例会の会議録は、8月下旬からご覧いただけます。)

用語解説 ※農業生産工程管理(GAP)…関係法令に即し、農業生産活動の各工程の正確な実施、記録、点検、評価を持続的に行う改善活動のこと  
 ※インバウンド…外国人が自国以外を訪れる旅行のこと  
 ※スフィア基準…災害や紛争などの被災者全てに対する人道支援活動を行う各種機関や個人が、被災当事者であるという意識を持って現場で守るべき最低限の基準